

一年国語教室通信

「言葉の劇場」で言語感覚を磨く

皆さんのワークシートを見ていると、文字の癖で誰かわかるようになっています。一年という歳月の重みを感じています。

一年間、意味調べの中で「言葉の劇場」に継続して取り組んできました。言葉の意味をわかつた上で、三文以上の短いお話を作る学習です。慣れてくると、ユーモアたっぷりの作品、リアルな作品、想像力豊かな作品なども提出されるようになり、私の楽しみの一つになっています。

今回も皆さんの作品を紹介しましょう。ホームページ上での公開なので、名前は伏せます。

あっけにとられる

比べものにならない

*最近、姉が学校の課題でタコ飯を作ってくれる。母は喜んでいるが、正直、味は母の作るものとは比べものにならない。今度、私も料理を作つてみよう。

*僕の学校には○○という先生がいる。その先生は筋肉量がすごい。僕と○○先生の筋肉量は比べものにならない。
*僕は腕相撲がとても弱い。昨日も弟に負けた。すると、「比べものにならないね。俺の圧勝だよ。」と弟におられた。

*父が在宅勤務になつた。僕は隣で宿題をしていた。父のタイミングの速さに、僕はあっけにとられた。

*私は三時から課題に取り組んでいる。難しい問題がなか

なか解げず、気づくともう五時になつていた。それを見に来た母が「まだそのプリントやつてるの?」とあっけにとられていた。

*僕は仮面ライダーが大好きだ。そして、今日仮面ライダーのショーを見に行つた。途中でぬいぐるみがどれ中から知らないおじさんが出てきて、あっけにとられた。

谷川俊太郎詩集 たつたいま

(青い鳥文庫)

合唱曲や教科書でもおなじみの国民的詩人、谷川俊太郎さん。その膨大な作品の中から三十七編を選び、新作も収録した本が昨年末に出版された。改めて、谷川俊太郎さんの世界観、言葉の力に圧倒される。

こころの色

私がなにを思つてきたか
それがいまの私をつくつて
いるあなたがなにを考へてきたのか
それがいまのあなたそのもの

世界はみんなのこころで決まる
世界はみんなのこころで変わる

あかんぼうのこころは白紙

大きくなると色にそまる

私のこころはどんな色？

きれいな色にこころをそめたい

きれいな色ならきっと幸せ
すきとおつていればもつと幸せ

頭の体操

次の空欄に漢字を一つ入れて、上から真ん中、真ん中から下、左から真ん中、真ん中から右と四つの熟語を作ります。

流

物

素

低□山

意□所

着□紙

手

一

顔

早

揮

級

遠□跡

屈□定

空□間

出

親

渦

難読漢字 動詞です ②③④⑩は超難問！
*ヒント「く」～「そ」で始まる動詞

- | | | | | |
|-----|------|------|------|------|
| ①寛ぐ | ②括れる | ③揺る | ④喰ける | ⑤虐げる |
| ⑥滴る | ⑦搾る | ⑧統べる | ⑨廃れる | ⑩戦ぐ |

頭の体操 漢字クイズ 答え

- ① 下（低下・下山・手下・下流）
- ② 見（意見・見所・一見・見物）
- ③ 色（着色・色紙（いろがみ・しきし）・顔色（かおいろ・がんしょく）・色素）
- ④ 足（遠足・足跡（あしあと・そくせき）・出足・足早）
- ⑤ 指（屈指・指定・親指・指揮）
- ⑥ 中（空中・中間・渦中・中級）

難読漢字

- ①くつろぐ ②くびれる ③くすぐる ④けしかける
- ⑤しいたげる ⑥したたる ⑦しばる ⑧すべる
- ⑨すたれる ⑩そよぐ